



愛泉保育園

自然に触れる体験

2022.10.24

市川市行徳・妙典という場所

東西線と京葉線に挟まれる形で位置しており、車で 10 分ほどで東京都という場所に位置しています。当園の保護者の約半数が電車利用をし、東京都へ通勤しています。千葉県の中でも都市部と呼ばれる地域に当たります。

愛泉保育園のロケーション

駅から徒歩 25 分ほどのところに位置しており、バスもしくは自転車を利用しなければならない位置にあります。創立 47 周年を迎える当園は、行徳に住宅が増えていく前に開園し、今でも地域の方々に温かく受け入れられて存在しています。

行徳地区の保育園事情

行徳・妙典地区には 10 年程前には 15 施設程の保育園が存在していましたが、ここ数年の間に小規模も含め約 50 園という数にまで増えました。小規模園のほとんどが駅に近い場所に点在しています。当園の周りにも小規模ではない園が 4 園増え、幼稚園が認定こども園になるなど、こどもの確保が大変な時代に突入しつつあります。

保育形態と屋外活動

0～2 歳児は育児担当制で丁寧な育児、3～5 歳児は異年齢保育という保育形態です。

<2022 年 10 月現在> 定員 190 名

0 才	すみれ	13 名	3～5 才	さくら	21 名
1 才	つぼみ	15 名		すずらん	32 名
	つくし	14 名		こすもす	32 名
2 才	たんぽぽ	18 名		ひまわり	32 名
	ちゅうりっぷ	13 名		合計 190 名	

環境を通して、主体性を育む保育をしています。教育的価値の高い玩具が整えられており、子ども達は自分がやりたい遊びを自ら選んで遊ぶことができます。環境認識の課業を中心に子どもが主体的に参加できること、造形などを通して自由に表現できる子を育てることを目標としています。

活動について

<園内の活動>

・木の実の収穫

園庭が都市部の園としては比較的大きい方で、いろいろな種類の木が存在しています。木になった実を収穫し、観察したり食したりします。

梅 ・ 柿 ・ みかん ・ ビワ etc.

・畑・プランターを利用したの収穫

小さいですが、園庭にある畑で、さつまいもを育てたり、プランターでできる夏野菜や稲などを育てています。あえて、保護者が登降園の際に見える場所に畑を配置し、子ども達と共通の会話ができる環境にしています。

・虫取りや花を集めて観察

限られた植栽の中や畑にやってくる虫をつかまえて、観察したり、調べたり、部屋に持ち帰って育てたりしています。

・落ち葉や木の実を拾うなどの楽しみ

シンボルツリーとしての桜の木は夏に木陰、秋は色づいた葉、冬は幻想的に雪が積もり、春には見事に花が咲くなど子ども達の生活を豊かにし、園庭にいただけで自然を体験させてくれます。オリーブやユスラウメなど実のなる木もありますので、落ちて実をつかまえておまごど遊びをしたり、落葉した葉を集めて寝転んでみたり、制作に使ってみたりしています。



<園外の活動>

近隣にはトイレがある公園がたくさんあり、園から一番近い、行徳南部公園は徒歩1分ほどのところにあります。広く、色々な種類の木がたくさん植えられているので、散歩や自然の触れあいに日常的に利用しています。

公園への道中にも小さな環境への気づきがあり、季節ごとに楽しみながら散歩しています。

徒歩30分のところに大きな畑を持たれている地主の小松菜農家さんがいます。大根堀り体験をさせて頂けるので、毎年行かせて頂いています。

